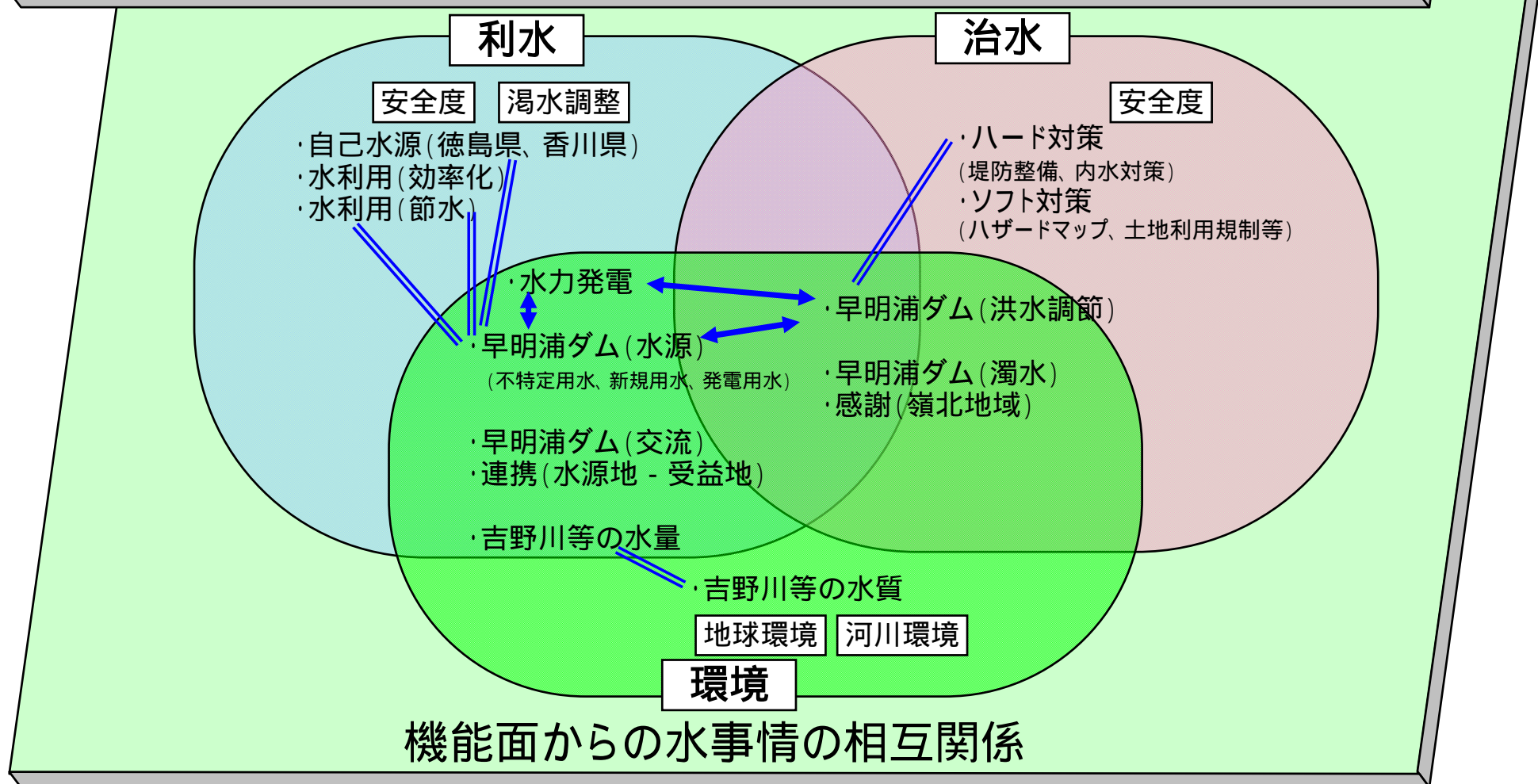
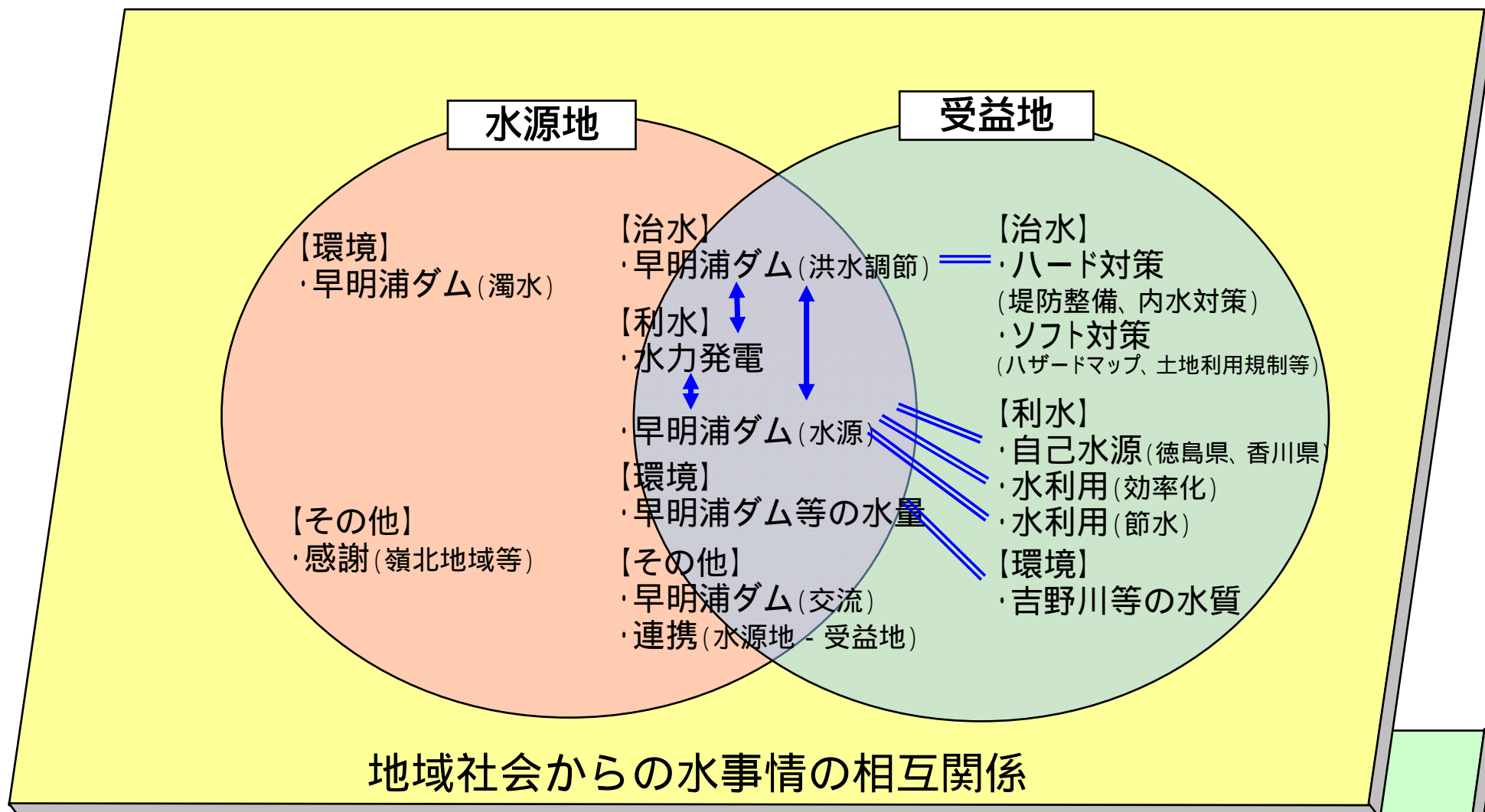


吉野川水系における水事情の相互関連の概念図

現在



早明浦ダムの属性間及び
関連する属性との関係

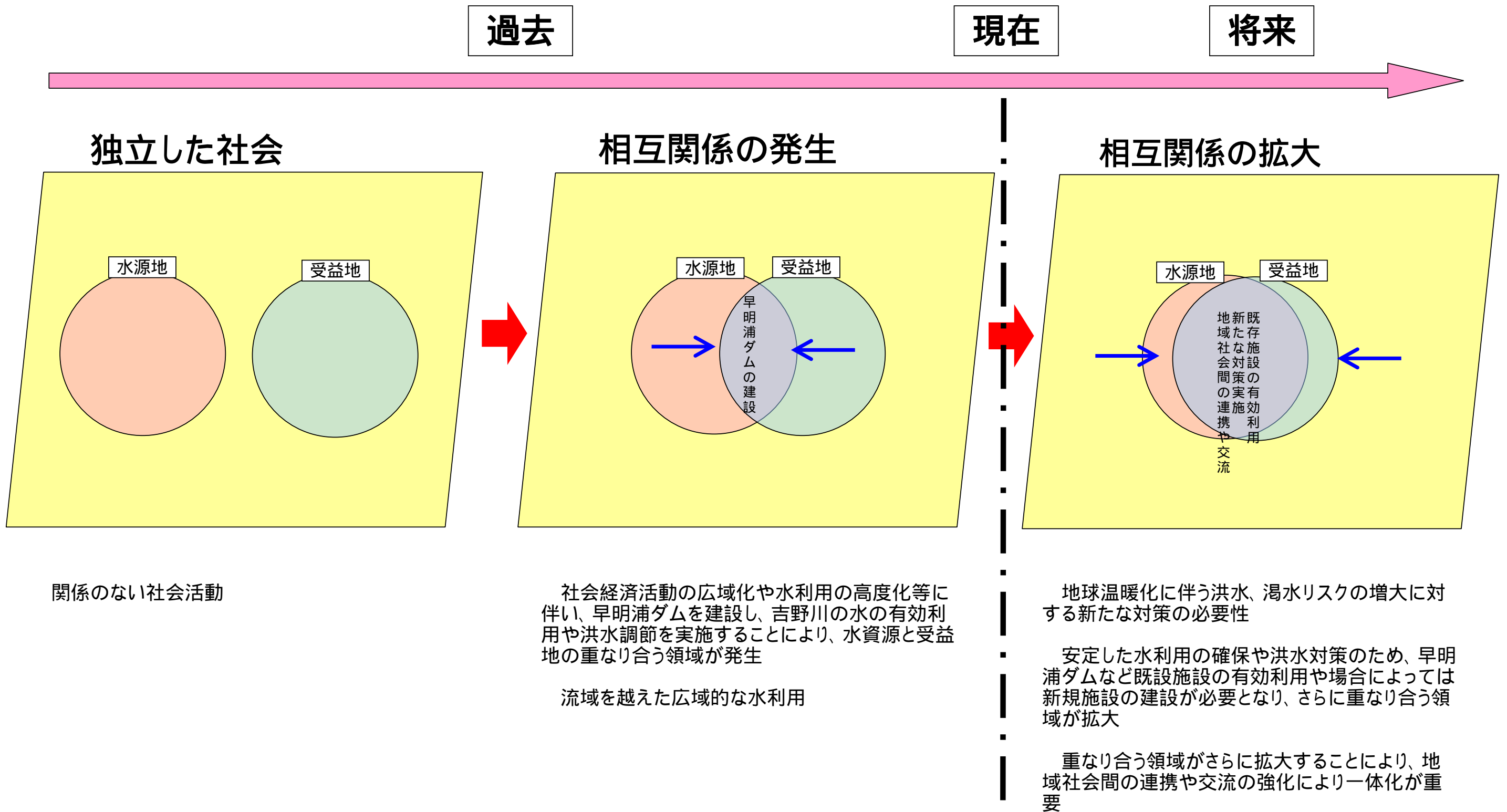
↔ 対立の関係
= 補完の関係

3つの留意点

- 情報の共有
- 取り組みの評価
- 交流と連携

施策、実施主体、優先度等の考え方

「地域社会面」から見た水事情の相互関連の時代変化

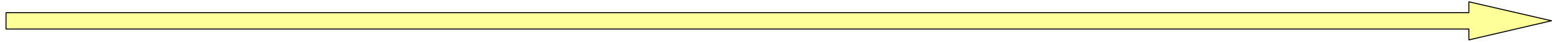


「機能面」から見た水事情の相互関連の時代変化

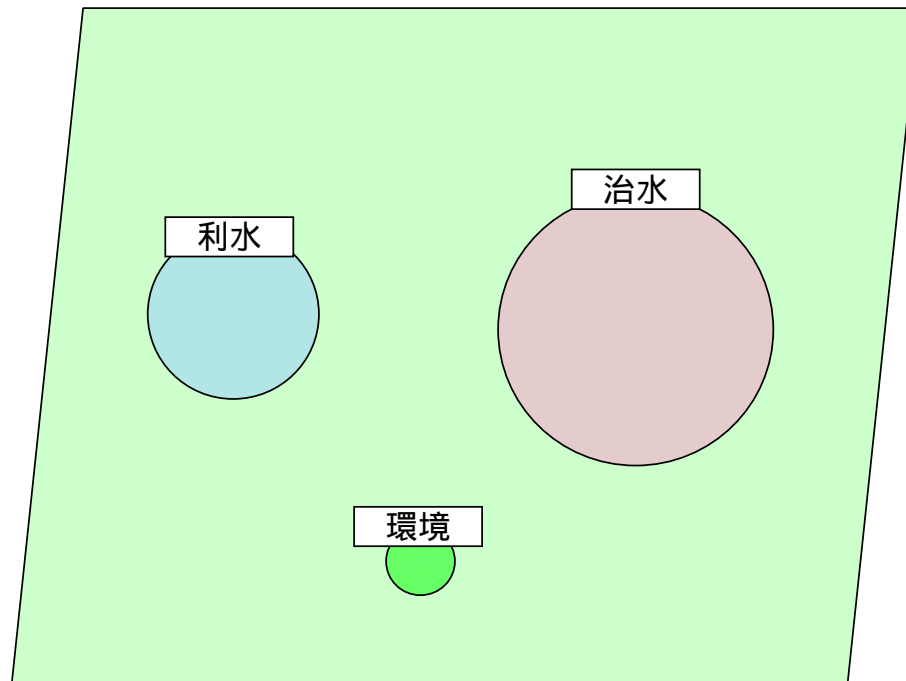
過去

現在

将来

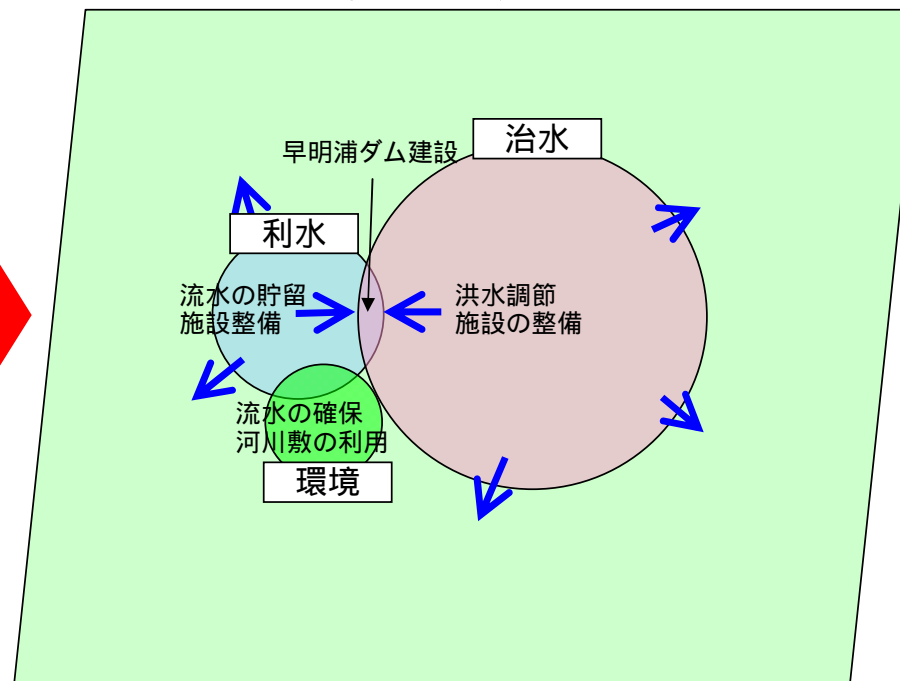


独立した機能



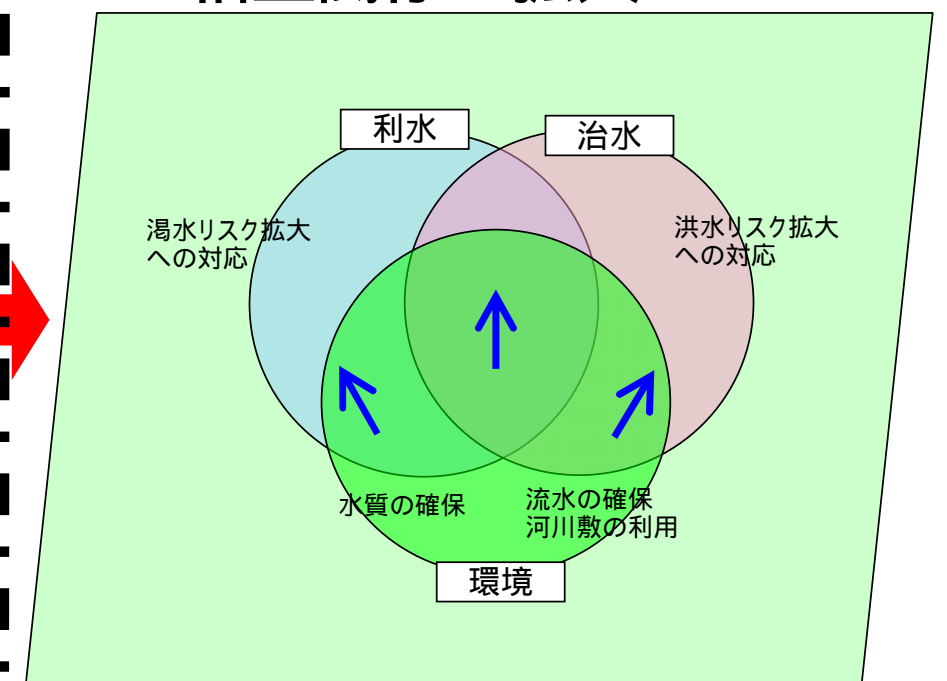
洪水被害の多発により治水機能の強化
 地域的な水利用
 ダムを中心とした電源開発
 相互関係は希薄
 治水 { 利水 { 環境の順に重視。
 環境は極小

相互関係の発生



土地利用の高度化に伴う洪水ダメージ拡大への対応
 水利用の高度化等による水需要の拡大への対応
 治水と利水の両方の要請に応えるものとして早明浦ダムが建設
 流域を越えた広域的な水利用
 都市空間における河川敷利用の拡大により河川環境を整備するとともに、水環境を改善するための流水確保
 早明浦ダムの建設は、洪水対策と水需要との関係から量的な視点が大きい

相互関係の拡大



地球温暖化に伴う洪水、渇水リスクの増大に対する新たな対策(水の再配分、既存施設の有効活用、新規水資源開発など)の必要性
 クリーンエネルギー源としての水力発電との調整
 安全な水を確保するため、水量に加え水質の観点からの水管理